

17 の温泉

人々は少なくとも 8 世紀から、箱根の温泉に入ってきましたが、水に治癒力があるとされる知識が広まったのは江戸時代でした（1603-1867）。箱根の温泉の分類記録として知られている最古のものは 1811 年にまで遡り、同地域の旅行案内書は、湯本、塔之澤、堂ヶ島、宮ノ下、底倉、木賀、芦之湯の 7 つの温泉について言及しています。文中では、それぞれの臭い、味、温度、あるとされている治療効果などの個別の特徴について記述されています。

開発技術の進歩により、明治時代（1868-1912）の新たな温泉の発見につながり、リストはまず 9 温泉に広がり、その後強羅や小涌谷を含む 12 になりました。地下深くから温泉水をくみ上げる技術が向上した 1930 年代には、さらに多くの温泉井が掘られました。ますます多くの温泉に名前が付けられ、記述されましたが、「温泉ラッシュ」は分類基準も変えました。現在箱根には正式には 17 の温泉がありますが、現在では、ミネラルやその他の性質による実際の差に基づくというよりも、その地域のホテルや旅館が指定するように、場所によってのみ分類されています。

